

**問12 次の「女性の人権」に関することがらについて、あなたのお考えを教えてください。  
(それぞれ一つに○をつけてください)**

問12は、女性の人権についての考え方を問うたものです。

「1 女性は男性を立てるべきだ」、「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい」、「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい」は、女性の人権を尊重した考え方とは言えず、「どちらかと言えばそう思わない」、「そう思わない」というNOの回答が女性の人権を尊重した意識と言えます。

「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」、「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」は、女性の人権を尊重した考え方と言えることから、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」というYESの回答が女性の人権を尊重した意識と言えます。そして、「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい」は、DVについての正しい知識の有無を問う項目であり、NOが正しい答えと言えます。

表12-1によると、「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」のYESは86.4%、「4 ドメスティック・バイオレンス(DV)は振るう側にこそ問題がある」のYESは、86.8%、「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」のYESは83.5%、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」のYESは88.7%と、これらの項目については、女性の人権についての意識が高いと言えます。

他方、「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい」のNOは44.5%、「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ」のNOは57.1%、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい」のNOは60.6%と比率が高いとは言えません。「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい」のYESが33.5%と3人に一人が間違った考えであることがわかります。

表12-1の右端の数値は、項目の回答を点数化して平均値を求めたものです。平均値を求めるために、選択肢を以下のように点数化します。「1 女性は男性を立てるべきだ」、「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい」、「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい」、「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい」

については、「そう思う」1、「どちらかと言えばそう思う」2、「どちらかと言えばそうは思わない」3、「そうは思わない」4とします。これらの項目には、末尾に(逆)を付します。また、「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」、「4 ドメスティック・バイオレンス(DV)は振るう側にこそ問題がある」、「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」については、「そう思う」4、「どちらかと言えばそう思う」3、「どちらかと言えばそうは思わない」2、「そうは思わない」1と変換します。

各項目の平均値を比べると、「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」、「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」の数値が低いことがわかります。

また、2007年調査における同じ項目の平均値を併記しています。

「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」、「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」については、2020年調査の項目の中では数値は低いのですが、2007年調査の数値よりは改善していることがわかります。

表 12-1

	合計	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは思わない	無回答	平均値	2007年調査 平均値
1 女性は男性を立てるべきだ・逆	1420	2.1%	16.5%	32.6%	47.2%	1.6%	<b>3.3</b>	
2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆	1420	15.9%	38.0%	23.9%	20.6%	1.5%	<b>2.5</b>	<b>2.2</b>
3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	1420	51.0%	35.4%	8.6%	3.5%	1.5%	<b>3.4</b>	
4 ドメスティック・バイオレンス(DV)は振るう側にこそ問題がある	1420	54.8%	32.0%	6.8%	4.5%	1.9%	<b>3.4</b>	
5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆	1420	11.3%	22.2%	34.2%	30.6%	1.8%	<b>2.9</b>	

表 12-1 つづき

	合計	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そうは思わない	無回答	平均値	2007年調査 平均値
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	1420	39.1%	44.4%	12.5%	2.3%	1.8%	3.2	
7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆	1420	12.6%	28.5%	35.1%	22.0%	1.8%	2.7	2.6
8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆	1420	8.0%	29.6%	30.9%	29.7%	1.7%	2.8	2.2
9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う	1420	44.8%	43.9%	8.0%	1.8%	1.4%	3.3	

次に、性別と女性の人権についての考え方との関連をみました。

その結果、性差が認められたのは、「4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある」、「5 知り合いの女性から夫の DV について相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」、そして、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」の4項目だけでした。

表 12-2-2 は、表 12-2-1 において統計的有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 12-2-1

		合計	そう 思う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統計的 検定
4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある	男性	619	53.3%	34.2%	7.3%	5.2%	p=. 013*	
	女性	748	57.6%	31.8%	6.7%	3.9%		
	性別未選択者	12	58.3%	8.3%	8.3%	25.0%		
	合計	1379	55.7%	32.7%	7.0%	4.6%		
5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい	男性	619	14.1%	26.7%	32.3%	27.0%	p<. 001***	
	女性	749	9.5%	19.5%	37.2%	33.8%		
	性別未選択者	12	0.0%	16.7%	8.3%	75.0%		
	合計	1380	11.4%	22.7%	34.8%	31.1%		
8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい	男性	624	10.3%	32.2%	29.6%	27.9%	p=. 019*	
	女性	746	6.6%	28.6%	33.0%	31.9%		
	性別未選択者	12	0.0%	16.7%	25.0%	58.3%		
	合計	1382	8.2%	30.1%	31.4%	30.3%		
9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う	男性	623	39.0%	45.9%	12.5%	2.6%	p<. 001***	
	女性	751	50.6%	43.5%	4.5%	1.3%		
	性別未選択者	12	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%		
	合計	1386	45.6%	44.4%	8.1%	1.9%		

表 12-2-2

F1 性別	4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある	5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆	8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆	9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う
男性	3.4	2.7	2.8	3.2
女性	3.4	3.0	2.9	3.4
性別未選択者	3.0	3.6	3.4	3.8
合計	3.4	2.9	2.8	3.3

表 12-2-1 と表 12-2-2 より、以下の解釈ができます。

「4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある」は、男性と女性よりも性別未選択者において平均値が低い傾向にあります。「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」は、性別未選択者、女性、男性の順に平均値が低くなっています。

上記の結果からは、いずれの性が女性の人権意識が高いのかについて判断することは困難です。

表 12-3-1 は、年齢と女性の人権についての考え方との関連をみたものです。

「4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある」以外の 8 項目において統計的有意差が認められます。

表 12-3-2 は、これら 8 項目について平均値を求めたものです。

表 12-3-1

		合計	そう思う	思う	どちらかと言えばそう	どちらかと思わない	ない	そうは思わない	統計的検定
1 女性は男性を立てるべきだ	10 歳代	126	0.8%	7.1%	33.3%	58.7%	p=.023*		
	20 歳代	172	1.2%	14.0%	30.2%	54.7%			
	30 歳代	179	3.4%	15.6%	31.8%	49.2%			
	40 歳代	195	2.1%	13.8%	37.9%	46.2%			
	50 歳代	215	1.9%	18.6%	33.5%	46.0%			
	60 歳代	261	1.9%	17.6%	31.0%	49.4%			
	70 歳代以上	228	3.1%	24.1%	33.3%	39.5%			
	合計	1376	2.1%	16.6%	33.0%	48.3%			

表 12-3-1 つづき

		合計	そう思う	思う	どちらかと言え ばそう	どちらかと思わ ない	そうは思わ ない	統計的検定
2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい	10歳代	126	11.1%	37.3%	25.4%	26.2%		p<.001***
	20歳代	172	11.0%	33.7%	24.4%	30.8%		
	30歳代	179	8.4%	31.3%	32.4%	27.9%		
	40歳代	195	12.3%	41.5%	24.1%	22.1%		
	50歳代	216	18.1%	39.4%	25.0%	17.6%		
	60歳代	261	19.2%	41.0%	23.4%	16.5%		
	70歳代以上	229	26.6%	43.2%	17.0%	13.1%		
	合計	1378	16.1%	38.7%	24.2%	21.0%		
3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	10歳代	126	70.6%	22.2%	4.0%	3.2%	p<.001***	
	20歳代	174	66.7%	25.3%	6.9%	1.1%		
	30歳代	179	52.5%	34.1%	7.8%	5.6%		
	40歳代	194	47.4%	40.7%	8.2%	3.6%		
	50歳代	216	50.0%	35.2%	11.1%	3.7%		
	60歳代	262	50.0%	38.5%	8.4%	3.1%		
	70歳代以上	226	37.6%	46.0%	11.9%	4.4%		
	合計	1377	51.9%	35.8%	8.7%	3.6%		
4 ドメスティック・バイオレンス(DV)は振るう側にこそ問題がある	10歳代	126	63.5%	29.4%	1.6%	5.6%	p=.072	
	20歳代	173	64.2%	26.0%	6.4%	3.5%		
	30歳代	179	56.4%	33.5%	5.6%	4.5%		
	40歳代	193	50.8%	38.3%	6.2%	4.7%		
	50歳代	217	55.8%	33.6%	7.4%	3.2%		
	60歳代	262	57.6%	28.6%	8.8%	5.0%		
	70歳代以上	222	46.8%	37.8%	9.5%	5.9%		
	合計	1372	55.8%	32.7%	6.9%	4.6%		
5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい	10歳代	126	15.1%	30.2%	31.7%	23.0%	p<.001***	
	20歳代	173	11.6%	19.1%	32.4%	37.0%		
	30歳代	179	8.9%	12.8%	36.3%	41.9%		
	40歳代	195	7.7%	13.8%	37.4%	41.0%		
	50歳代	216	8.3%	20.4%	41.7%	29.6%		
	60歳代	261	11.5%	20.7%	34.9%	33.0%		
	70歳代以上	223	17.9%	40.8%	27.8%	13.5%		
	合計	1373	11.5%	22.6%	34.7%	31.2%		
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	10歳代	125	48.8%	40.8%	4.8%	5.6%	p<.001***	
	20歳代	172	60.5%	32.0%	7.0%	0.6%		
	30歳代	178	43.3%	42.7%	12.4%	1.7%		
	40歳代	194	37.1%	45.4%	14.9%	2.6%		
	50歳代	217	32.7%	45.6%	19.4%	2.3%		
	60歳代	261	38.3%	46.7%	13.0%	1.9%		
	70歳代以上	227	28.6%	55.5%	13.2%	2.6%		
	合計	1374	40.0%	44.9%	12.7%	2.3%		
7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ	10歳代	126	7.1%	24.6%	47.6%	20.6%	p<.001***	
	20歳代	173	11.6%	24.9%	35.8%	27.7%		
	30歳代	178	12.9%	25.3%	39.9%	21.9%		
	40歳代	194	19.1%	33.0%	31.4%	16.5%		
	50歳代	215	16.7%	33.5%	32.6%	17.2%		
	60歳代	261	9.6%	25.3%	36.0%	29.1%		
	70歳代以上	226	11.5%	34.1%	31.9%	22.6%		
	合計	1373	12.8%	29.0%	35.7%	22.5%		

表 12-3-1 つづき

		合計	そう思う	思う	どちらかと言えばそう	どちらかと思わない	そうは思わない	統計的検定
8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい	10歳代	125	8.0%	32.8%	32.0%	27.2%	p<.001***	
	20歳代	172	6.4%	23.3%	27.9%	42.4%		
	30歳代	178	5.6%	25.8%	32.6%	36.0%		
	40歳代	194	6.7%	27.3%	34.5%	31.4%		
	50歳代	216	7.4%	28.7%	35.2%	28.7%		
	60歳代	262	6.5%	29.0%	33.6%	30.9%		
	70歳代以上	228	15.8%	42.1%	23.7%	18.4%		
	合計	1375	8.2%	30.1%	31.3%	30.3%		
9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う	10歳代	126	52.4%	36.5%	7.1%	4.0%	p<.001***	
	20歳代	173	56.1%	37.0%	6.4%	0.6%		
	30歳代	179	44.1%	43.6%	8.4%	3.9%		
	40歳代	194	43.8%	48.5%	7.7%	0.0%		
	50歳代	216	45.8%	47.7%	6.0%	0.5%		
	60歳代	263	47.5%	43.0%	8.0%	1.5%		
	70歳代以上	228	33.3%	50.9%	12.3%	3.5%		
	合計	1379	45.5%	44.5%	8.1%	1.9%		

表 12-3-2

F2 年齢	1 女性は男性を立てるべきだ・逆	2 母親は子どもが3才ぐらまでは専念するが望ましい・逆	3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆	6 男性も積極的に育児をするべきだ	7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆	8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆	9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う
10歳代	3.5	2.7	3.6	2.6	3.3	2.8	2.8	3.4
20歳代	3.4	2.8	3.6	3.0	3.5	2.8	3.1	3.5
30歳代	3.3	2.8	3.3	3.1	3.3	2.7	3.0	3.3
40歳代	3.3	2.6	3.3	3.1	3.2	2.5	2.9	3.4
50歳代	3.2	2.4	3.3	2.9	3.1	2.5	2.9	3.4
60歳代	3.3	2.4	3.4	2.9	3.2	2.9	2.9	3.4
70歳代以上	3.1	2.2	3.2	2.4	3.1	2.7	2.5	3.1
合計	3.3	2.5	3.4	2.9	3.2	2.7	2.8	3.3

表 12-3-1 と表 12-3-2 より、以下のような解釈が可能です。

「1 女性は男性を立てるべきだ・逆」は、50歳代より年齢が下がるほど平均値が高くなっています。「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」については、お

おむね年齢が下がるほど平均値が高くなっています。「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」、「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆」、「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」については、60歳代から30歳代まで年齢が下がるほど平均値は高くなっていますが、20歳代、あるいは、10歳代で平均値が低下している点は気になるところです。

上記の結果から、年齢が高い人よりも年齢が低い人の方が女性の人権意識は高い傾向があるものの年齢が下がるほど、女性の人権意識が高くなるとは言いきれません。

表12-4-1は、職種と女性の人権についての考え方との関連をみたものです。

「4 ドメスティック・バイオレンス(DV)は振るう側にこそ問題がある」、「9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う」以外の7項目において、女性の人権についての考え方に職種の違いがみられます。

表12-4-2は、表12-4-1で統計的な有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表12-4-1

		合計	そう思う	そう思う と思う	どちらか 言えばそう 思う	どちらか と 思わない	どちらか と 思わない	そう は 思わ ない	統計的 検定
1 女性は男性を立てるべきだ	自営業	72	4.2%	18.1%	27.8%	50.0%		p=.014*	
	自由業	14	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%			
	公務員・教員	60	1.7%	10.0%	28.3%	60.0%			
	経営者・役員	35	2.9%	25.7%	40.0%	31.4%			
	正規職員	318	2.2%	17.3%	32.7%	47.8%			
	非正規職員	284	0.7%	15.8%	35.6%	47.9%			
	学生	165	0.6%	8.5%	31.5%	59.4%			
	無職	417	3.4%	20.9%	33.6%	42.2%			
	合計	1365	2.1%	16.9%	33.1%	47.8%			
2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい	自営業	72	25.0%	40.3%	12.5%	22.2%	p<.001***		
	自由業	14	7.1%	42.9%	35.7%	14.3%			
	公務員・教員	60	3.3%	28.3%	31.7%	36.7%			
	経営者・役員	35	22.9%	37.1%	25.7%	14.3%			
	正規職員	320	12.8%	37.8%	26.6%	22.8%			
	非正規職員	282	13.8%	37.9%	29.4%	18.8%			
	学生	165	12.7%	34.5%	25.5%	27.3%			
	無職	418	21.3%	42.3%	19.6%	16.7%			
	合計	1366	16.0%	38.6%	24.5%	20.9%			

表 12-4-1 つづき

		合計	そう思う そう思う	思う 言えばそう どちらかと	どちらかと 言えばそう 思わない	そうは 思わ ない	統計的 検定
3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	自営業	72	36.1%	47.2%	9.7%	6.9%	p<.001***
	自由業	14	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	
	公務員・教員	60	60.0%	21.7%	6.7%	11.7%	
	経営者・役員	35	54.3%	37.1%	2.9%	5.7%	
	正規職員	320	50.6%	36.6%	9.7%	3.1%	
	非正規職員	283	53.4%	37.5%	8.1%	1.1%	
	学生	165	77.0%	17.6%	3.0%	2.4%	
	無職	415	43.6%	42.4%	9.9%	4.1%	
合計	1364	51.9%	36.1%	8.5%	3.5%		
4 ドメスティック・バイオレンス (DV) は振るう側にこそ問題がある	自営業	72	47.2%	33.3%	12.5%	6.9%	p=.120
	自由業	14	71.4%	14.3%	7.1%	7.1%	
	公務員・教員	60	56.7%	33.3%	5.0%	5.0%	
	経営者・役員	34	61.8%	35.3%	0.0%	2.9%	
	正規職員	319	54.5%	32.9%	8.5%	4.1%	
	非正規職員	283	59.0%	32.5%	4.2%	4.2%	
	学生	165	65.5%	25.5%	3.6%	5.5%	
	無職	412	51.0%	35.9%	8.7%	4.4%	
合計	1359	55.8%	32.7%	6.9%	4.6%		
5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい	自営業	72	13.9%	30.6%	25.0%	30.6%	p<.001***
	自由業	14	0.0%	28.6%	21.4%	50.0%	
	公務員・教員	60	8.3%	10.0%	35.0%	46.7%	
	経営者・役員	35	17.1%	34.3%	25.7%	22.9%	
	正規職員	320	10.0%	17.5%	36.9%	35.6%	
	非正規職員	283	7.1%	19.8%	42.8%	30.4%	
	学生	165	15.8%	26.7%	31.5%	26.1%	
	無職	412	13.6%	26.7%	32.5%	27.2%	
合計	1361	11.4%	22.8%	35.0%	30.9%		
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	自営業	72	31.9%	54.2%	8.3%	5.6%	p<.001***
	自由業	14	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	
	公務員・教員	60	41.7%	51.7%	6.7%	0.0%	
	経営者・役員	35	31.4%	40.0%	22.9%	5.7%	
	正規職員	320	41.3%	43.1%	15.0%	0.6%	
	非正規職員	283	40.6%	43.8%	14.5%	1.1%	
	学生	164	59.1%	32.9%	4.3%	3.7%	
	無職	414	32.6%	50.7%	13.0%	3.6%	
合計	1362	39.9%	45.3%	12.4%	2.3%		
7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ	自営業	72	22.2%	20.8%	41.7%	15.3%	p=.010*
	自由業	14	28.6%	21.4%	42.9%	7.1%	
	公務員・教員	60	10.0%	30.0%	33.3%	26.7%	
	経営者・役員	35	14.3%	40.0%	22.9%	22.9%	
	正規職員	321	16.2%	24.9%	37.4%	21.5%	
	非正規職員	282	9.9%	34.4%	32.6%	23.0%	
	学生	165	7.3%	23.6%	44.8%	24.2%	
	無職	412	12.1%	31.1%	34.2%	22.6%	
合計	1361	12.7%	28.9%	36.1%	22.3%		



表 12-4-1 つづき

		合計	そう思う	思う	どちらかと言えはそう	どちらかと思わない	そうは思わない	統計的検定
8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい	自営業	72	15.3%	40.3%	30.6%	13.9%	p<.001***	
	自由業	14	0.0%	21.4%	42.9%	35.7%		
	公務員・教員	60	1.7%	31.7%	25.0%	41.7%		
	経営者・役員	35	14.3%	40.0%	20.0%	25.7%		
	正規職員	320	6.3%	26.6%	36.3%	30.9%		
	非正規職員	282	5.0%	29.8%	35.1%	30.1%		
	学生	164	7.3%	23.8%	29.9%	39.0%		
	無職	417	11.5%	32.9%	28.1%	27.6%		
合計	1364	8.1%	30.1%	31.6%	30.2%			
9 日本は、まだまだ男女が平等な社会になっていないと思う	自営業	72	40.3%	44.4%	12.5%	2.8%	p=.131	
	自由業	14	50.0%	35.7%	7.1%	7.1%		
	公務員・教員	60	43.3%	46.7%	8.3%	1.7%		
	経営者・役員	35	42.9%	51.4%	5.7%	0.0%		
	正規職員	320	44.1%	44.7%	10.0%	1.3%		
	非正規職員	284	45.1%	49.6%	4.6%	0.7%		
	学生	165	55.2%	37.6%	4.2%	3.0%		
	無職	417	44.8%	43.2%	9.6%	2.4%		
合計	1367	45.6%	44.6%	8.0%	1.8%			

表 12-4-2

F3 職業	1 女性は男性を立てるべきだ・逆	2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆	3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ	5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりで話し合いをするように忠告したい・逆	6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乘れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆	8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆
自営業	3.2	2.3	3.1	2.7	3.1	2.5	2.4
自由業	3.4	2.6	3.1	3.2	3.4	2.3	3.1
公務員・教員	3.5	3.0	3.3	3.2	3.4	2.8	3.1
経営者・役員	3.0	2.3	3.4	2.5	3.0	2.5	2.6
正規職員	3.3	2.6	3.4	3.0	3.3	2.6	2.9
非正規職員	3.3	2.5	3.4	3.0	3.2	2.7	2.9
学生	3.5	2.7	3.7	2.7	3.5	2.9	3.0
無職	3.2	2.3	3.3	2.7	3.1	2.7	2.7
合計	3.3	2.5	3.4	2.9	3.2	2.7	2.8

表 12-4-1 と表 12-4-2 より、以下のような解釈が可能です。

「1 女性は男性を立てるべきだ・逆」、「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」、「8 女性は結婚する時、男性の姓を名乗るほうがよい・逆」につ

いては、自営業、経営者・役員の人々が他の職種よりも平均値が低くなっています。「2 母親は子どもが3才ぐらいまでは育児に専念することが望ましい・逆」については、公務員・教員において他の職種よりも平均値が高くなっています。「3 昇給・昇進など、職場で男女の処遇に違いがあるのは問題だ」については、学生が他の職種よりも平均値が高くなっています。「5 知り合いの女性から夫のDVについて相談を受けた場合、ふたりできちんと話し合いをするように忠告したい・逆」についても職種と関連が見られ、経営者・役員において平均値が低いことがわかります。「6 男性も積極的に育児休業を取るべきだ」では、学生、自由業、公務員・教員の平均値が高くなっています。「7 女性が「土俵に上がれない」「祭りのみこしに乗れない、担げない」など女人禁制のしきたりがあるが、伝統として尊重すべきだ・逆」では、自由業で平均値が低くなっています。

ただ、いずれかの職種が女性の人権意識が高いと言えるのかという判断は困難です。

地区別の女性の人権についての考え方との関連をみたところ、表 12-5-1 の「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」という項目のみ地区の違いがみられました。

表 12-5-2 は、この項目について平均値を求めたものです。

表 12-5-1

		合計	そう思う	思う 言えばそう	どちらか と	思わない 言えばそう	どちらか と	ない そうは 思わ	統計的 検定
6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ	三田地区	156	34.6%	48.7%	15.4%	1.3%		p=.040*	
	三輪地区	175	45.1%	38.9%	12.0%	4.0%			
	広野地区	55	41.8%	43.6%	14.5%	0.0%			
	小野地区	28	50.0%	39.3%	10.7%	0.0%			
	高平地区	35	42.9%	40.0%	14.3%	2.9%			
	藍地区	24	37.5%	41.7%	16.7%	4.2%			
	本庄地区	23	21.7%	60.9%	13.0%	4.3%			
	フラワータウン地区	271	33.6%	47.6%	15.5%	3.3%			
	ウッディタウン地区	437	45.5%	41.4%	11.2%	1.8%			
	カルチャータウン地区	47	34.0%	46.8%	19.1%	0.0%			
	つつじが丘地区	87	33.3%	62.1%	2.3%	2.3%			
	合計	1338	39.9%	45.1%	12.7%	2.3%			

表 12-5-2

F4 地区	6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ
三田地区	3.2
三輪地区	3.3
広野地区	3.3
小野地区	3.4
高平地区	3.2
藍地区	3.1
本庄地区	3.0
フラワータウン地区	3.1
ウッディタウン地区	3.3
カルチャータウン地区	3.2
つつじが丘地区	3.3
合計	3.2

「6 男性も積極的に育児休業をとるべきだ」について、本庄地区、藍地区、フラワータウン地区が、他の地区よりも平均値が幾分低い傾向が見られます。

この結果のみでは、地区と女性の人権意識の関連について結論づけはできません。